



CONTENTS

● ヤマトグループTOPICS

● 【ご報告】「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」 助成先の復興再生事業について

● トップインタビュー

「ネコロジーに込めた思い」 ヤマトホールディングス株式会社 常務執行役員 芝崎 健一

● 新着情報

ヤマトグループTOPICS

ヤマトグループ各社、各地域、環境への取り組み、今後の予定などを「一行ニュース」でお知らせします。

ヤマト運輸

- ・ 地域で安全を守る。岩手県警と協力して「振り込め詐欺」防止の取り組みを開始（岩手県・11月19日～）
- ・ 手ぶらで東京観光。東京駅丸の内駅舎でクローク業務の運営開始。英語対応、ポーターサービスも（10月1日～）
- ・ 警察、民生委員と協力。高齢者の孤独死を防ぐ「とちまる見守りネット」に参加（栃木県・9月5日～）

ヤマトロジスティクス

- ・ 日本各地から16名が参加した油彩・水彩品などの展示会「アソシエイト展」を開催（東京都）

ヤマトホームコンビニエンス

- ・ 北海道産品をアジアへ。北海道から香港へ、冷凍・冷蔵食品のテスト輸送を開始（9月～）
- ・ 検査場と約3,700軒の農家との間で放射線の線量検査米の輸送を開始（福島市、川俣町・10月～）
- ・ 社会福祉士（成年後見人）の困りごとを解決。故人の不用品を買い取り。明瞭な料金で遺品整理も（中国地方）

ヤマトシステム開発

- ・ お父さんお母さんの職場を知ろう。豊洲オフィスや免震データセンターの社員家族向け見学会を実施（11月）

ヤマトフィナンシャル

- ・ 「三河湾チャリティー100km歩け歩け大会」で手荷物の回送サービスや参加費の事前決済を可能に（愛知県・10月）
- ・ 大手流通小売の従業員19万人の福利厚生利用を促進。イベントチケットを自宅にお届け。電子マネー決済も可能に。

【ご報告】「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」助成先の復興再生事業について

岩手県野田村の野田村保育園が完成。11月1日に開園

職員16名、園児84名全員が無事に避難し、『奇跡の脱出』と話題になった野田村保育所。新しい保育所は、以前より1キロメートル内陸に位置し、17メートル以上の高台に再建されました。完成式典で、野田村保育会の岩岡理事長は「子どもたちに安心、安全な素晴らしい環境を与えていただき感謝しています。子どもたちが楽しく遊び回る姿が目に見えるようです」と話しました。



※その他の復興再生事業について：http://www.yamato-hd.co.jp/information/info/contribution_1104.html

トップインタビュー

ヤマトホールディングス株式会社 常務執行役員 芝崎 健一

「ネコロジー」に込めた思い

ヤマトグループの環境保護活動の総称を、「クロネコ(ヤマト)」と「エコロジー」を組み合わせて「ネコロジー」と名づけました。「ネコロジー」が目指すのは、

ネコロジー

- [1] ヤマトグループの社員一人ひとりが常に環境保護の意識を持って日々の各業務に取り組んでいくこと
- [2] 物流の「包む」「運ぶ」「届ける」のみならず、その他様々な事業を徹底的にエコロジー化し、環境にやさしい物流の仕組みを築いていくこと
- [3] ヤマトグループのサービスをご利用いただくたびに、お客様の環境保護の想いがかなえられるように、つねに環境にやさしいサービスを考え続けていくこと

の3点です。実は、私たちは20年以上も前から環境保護活動に取り組んできました。ペットボトルで作る制服、電気自動車・ハイブリット車の導入など、数えあげればきりがありません。しかしこれからは社内に限った取り組みにとどまらず、お客様や地域(社会)とともに、一人ひとりの社員があらゆる事業や行動を通じて新たな環境の価値を作っていこう。そんな思いを込めたネーミングです。

環境にやさしいサービスの提供で「ネコロジー」

ヤマトグループのサービスには、利用していただくだけで「ネコロジー」につながるものが多数あります。例えば宅急便。市街地での集荷・配達には台車や新スリーター(リヤカー付きの電動アシスト自転車)を利用したり、お届け先にあらかじめ配達時間や受け取り場所を指定していただく「宅急便受取指定」で再配達による車両の稼働を減らしたりなど、宅急便というサービスそのものをどんどん「ネコロジー」にしています。

そしてヤマト包装技術研究所が開発した再利用可能な梱包資材「FLIX(フリックス)」。空気を抜くだけでどんな荷物の形状にも対応することができる緩衝材です。使い捨てではなく何度でも繰り返し使用できるので、廃棄する資材が減る上に、お客様の梱包コストを抑えられるため、社員が自信を持っておすすめしています。



ヤマトグループのCSRを担当する
常務執行役員の芝崎



ポンプを使って中の空気を抜くだけで
荷物を包むことができる「FLIX」



(前頁続き)環境保護活動に対し、これまで社員は“会社が取り組んでいるもの”“自分の仕事にはあまり関係がないもの”という意識がどこかにあったかもしれません。しかし、最近は「ネコロジー」を合言葉に、多くの社員に環境への意識が浸透し、効果があらわれています。その結果、営業の際、環境を切り口にお客様にサービスをご提案する社員も増えてきています。

地域とともに「ネコロジー」

宅急便やクール宅急便。ヤマトグループのサービスは、地域とともに進化(深化)してきたものばかりです。環境保護でも同じように地域に合わせた活動が始まっています。

京都市嵐山周辺でヤマト運輸と京福電気鉄道が始めた取組み。日本で初めて宅急便の輸送の一部に路面電車「嵐電」を活用し、集荷・配達には新スリーターを使用することで、地域全体のCO2排出量削減に貢献しています。

また、ヤマト運輸がショッピングセンター(SC)や大型ビルなどへの集約配送を実現するために新設した「ビル・タウンマネジメント推進室」。近隣にある宅急便の営業所に、ヤマトグループ以外の配送業者・納品業者の荷物も合わせて集約し、お届け先の店舗・会社ごとに仕分けをした上で配達することで、SCに集まる配送車両の台数を減らすことができます。SC周辺地域の渋滞緩和、排気ガス・CO2排出量削減が可能になるのです。

まずはやってみる

“環境保護活動”について難しく考えすぎると思考や動きが止まってしまうがちですが、大切なのは、まずは始めてみよう、やってみようという気持ちです。「ネコロジー」という言葉で社員のアイデアややる気を引き出し、お客様や地域とできることをやっていく。そうする事で新たな価値を作ることができる。そう信じています。

ヤマトグループの環境保護活動を、特設Webサイトでわかりやすく紹介しています。
ぜひご覧ください。 www.yamato-hd.co.jp/csr/necology/



路面電車を活用した配送



人がエネルギーの新スリーター



ペットボトルを再利用して作られた制服



ペットボトルから作られた制服(上)
ハイブリット車(下)





新着情報

【ヤマト運輸】 手ぶらで東京観光ができるクローク&ポーターサービスを開始

創建時の姿に復原されて開業した東京駅丸の内駅舎内において、10月1日よりクローク&ポーターサービスを開始しました。訪日旅行者向けの施設「JR EAST Travel Service Center内クローク東京駅丸の内北口店」に手荷物を預けるだけで、手ぶらで東京駅周辺の観光などが楽しめます。また、海外からのお客様向けに、スタッフ全員英語での対応が可能。海外では一般的であるポーターサービスも提供します。JR東日本の新幹線・成田エクスプレスの各乗り場やはとバスの丸の内南口乗り場へお客様をご案内し、手荷物を運びます。



【ヤマトシステム開発】 メーカーが初期投資を抑えレンタル事業を始められる“ワンストップ”サービスの提供を開始

医療機器や精密機器などの高額品メーカー向けに「レンタル事業」@ワンストップサービスを開始しました。①商品の予約、貸出、返却が一元管理できるWebサービス ②商品の出荷・返却といった物流業務 ③機器の再生・クリーニング業務 ④レンタル料金の決済代行までヤマトグループで全て請負います。今後は、レンタル期限などを都度メールでお知らせするメール自動送信機能や在庫回転率・稼働率などの分析機能も提供していきます。企業内で使用する機器の集中と選択が進む中、レンタル事業に関わる業務をワンストップで提供するのは国内で初めてです。

【ヤマトマルチメンテナンスソリューションズ】 5年間の充実した保証サービスが受けられる「クロネコ 延長保証サービス」1周年感謝キャンペーン実施

消費者が家電を購入する際、保証サービスの内容が重要な判断基準のひとつとなっています。昨年ネット通販事業者向けに提供を開始した「クロネコ延長保証サービス」は、安心して家電を購入できるようになることから、多くの消費者にご加入いただいています。そこでこの度、1周年の感謝の気持ちを込めて「ありがとうキャンペーン」を実施します。期間中(2012年12月1日～2013年1月31日)、「クロネコ延長保証サービス」契約中のネットショップで商品を購入の上、「クロネコ延長保証サービス」にご加入いただいた方の中から抽選で、地方の名産品からお好きなものを選べる「クロネコグルメセレクション」他、豪華賞品をプレゼントします。

【ヤマトロジスティクス】 迅速な交通事故対応をした社員が NEXCO東日本より感謝状を授与

美術品輸送を担当する広瀬ドライバーが、未然に高速道路での大事故防止に尽力したとしてNEXCO東日本より感謝状をいただきました。10月25日に起きた東京外環自動車道大泉ジャンクションでの普通車の横転事故。

自らの車両により交通規制を実施しました。警察や消防、救急隊が現場に到着するまでの間、後続車への注意喚起や、事故車両から搭乗者の救出、けが人の介抱など迅速な初期対応にあたりました。

